

寄稿 飯南町への想い

「飯南町に住んで」

飯南町下赤名 倉橋 照勇



私がイターンとして飯南町に来て、森林組合で働き始めたから丸十一年が経ちました。アツと言う間でとても早く感じています。初めは三年もつか心配でしたが、周りの人達のおかげで、大きな怪我もなく、元気に頑張っています。その間、結婚をして二人の娘にも恵まれ、幸せな日々を過ごしています。近年では、自治会の役にも就かせてもらい、先輩方のご指導を頂きながら頑張っていますが、なかなかうまくいかずご迷惑をかけていることと思います。

山に入ると、四季の移り変わりがよく分かります。木々には新芽が芽吹き、山桜が咲き始め、飯南町に遅い春がやってきました。



長女の入学式

私は、五月の新緑がとても好きで、飯南町の新緑は本当にきれいだと思います。雪景色も良いのですが、未だに寒さと雪には慣れることができません。

これからも「もり」として飯南町の山々を守り、今の美しい緑を娘達の世代にも受け継いで行けたらと思っています。



私の信条

いつも疑問をもって

伊藤 好晴



合併して5年あまり、この間500人以上の人口が減りました。おおよそ割減ったことになり、寂しい限りです。過疎に歯止めがかかり、活力ある発展ができるように、産業振興、特に稲作での収益増と、保健・福祉の充実が一番大切との思いで活動しています。私の活動の原点は、①みなさんの声をよく聞き、②議会のあるごとに発言し、③活動内容をお知らせする、この3点にあります。議案の審議にあたっては、いつも疑問を持って接するよう心がけています。良いことは前へすすめ、悪いと思うことは中止・改善を迫る。住民の立場に立って行政を監視することが重要と考えています。住民の代弁者として、みなさんのご意見を大切に、健康で活力あふれる住みよいまちづくりのために努力します。一層のご指導をお願いします。

編集後記

国政は22年度の本予算も成立し、今後の政局へと展開してきましたが、いまだに沖縄の基地問題も先が見えない状況の中、夏の参院選挙に向けて民主党、自民党内に大きな問題を抱えている現状であります。

さて、3月議会も新年度の予算が議決され、4月から執行されます。特産物のブランド化や定住、交流をより進めていくために、課の統合、新設が行われました。行政も新たな思いで事業を進められることに、今後期待をいたします。

議会に於いても議会活動をよりいっそう活発化するため、一般質問に一問一答方式を取入たり、常任委員会の傍聴ができるなど議会の改革がおこなわれました。しかし議員自らが研鑽し、今後の議会運営をどう進めていくのか、全議員が自覚を持つことが大事であります。

住民の皆様に見える議会として、努力をし、本町の発展、活性化に全力を尽くして参りますので、尚一層のご支援をお願いいたします。

議会広報編集委員会

安部 朋次